

種別	支店名										計	沖繩縣稅品取扱費	合計	
	札幌	函館	旭川	釧路	帯広	旭川	札幌	江津	山形	本郷				室蘭
印紙製造費												七、八四四		
税印押捺費												一、四二四		
印紙買戻金												一、九六五		
人運足場費												二、二四九		
筆札製造費														
招牌製造費														
計												八、七四一		
品取扱費												二、一〇八		
合計												三、四七九		

一七四

第二章 税務管理局職員

三十五年四月一日現在ノ税務管理局ノ職員ヲ擧クレハ税務管理局長貳拾四人ニシテ根室管理局長ハ缺員タリ而シテ一級俸六人二級俸拾人三級俸參人四級俸壹人五級俸四人トス同稅官ハ各局通シテ百人ナリ以上奏任官通計百貳拾四人ニシテ前年ニ比シ壹人ノ減少ヲ呈セシハ前記局長壹人ノ缺員アルニ由ル又判任官ハ五千五拾人ニシテ内稅務屬四千八百六拾參人技手百八拾七人ニシテ前年ニ比シ四百九拾參人ノ減差ヲ呈セシハ官制改正ノ結果定員ヲ減少セラレタル爲メ稅務屬ニ五百參拾貳人ヲ減シ技手ニ參拾九人ヲ増シ差引前記ノ減少ナリトス見習員ハ四拾參人ニシテ前年ニ比シ參拾壹人ヲ増加セリ雇員ハ月給千八百九拾四人日給百貳拾六人合計貳千貳拾人ニシテ前年ニ比シ貳百四拾壹人ヲ増加セシハ月給雇員二百五拾八人日給雇員八拾參人ヲ増加セシニ由ル以上通計七千貳百參拾七人ニシテ前年ニ比シ貳百貳拾貳人ノ減差ヲ顯ハスモノトス即チ左表ノ如シ

列	三十四年四月一日現在	比	官 任		官 等	年俸及月俸	人 員	月 俸	額	年 俸	給 額		
			官 稅 前									長 局	
			七 六 五 四 三 二	級 級 級 級 級 級								計	計
九 八 七 六 五 四 三 二	級 級 級 級 級 級 級	六 七 八 九 千 千	百 百 百 百 百	級 級 級 級 級	千 千 千 千 千	貳 四 六 八 千	百 百 百 百 百	圓 圓 圓 圓 圓	圓 圓 圓 圓 圓	圓 圓 圓 圓 圓	圓 圓 圓 圓 圓		
稅	增	減	計	計	計	計	計	計	計	計	計		
稅務管理局職員	△		一〇〇	二二	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇		
計			一〇〇	二二	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇		

一七五





第十二款 法令要旨

第一章 法律

印紙税法中改正三十四年四月二日法律第十六號（官報四月四日）

爲替手形約束手形ノ印紙税ヲ均一ノ定額税ト爲シテ商業取引ニ便宜ヲ與ヘ税印押捺ノ便ヲ特定ノ證書ニ限ラヌシテ一般ニ及ホスヲ以テ時宜ニ適スルモノト爲シタルニ由リ本法ヲ公布セラレタリ

所得税法中改正三十四年四月二日法律第十七號（官報四月四日）

所得税法第四條法人ノ所得ヲ算定スルニ當リ賞與金交際費機械建物償却金ハ總損金ノ内ニ含著スルヤ否ヤニ付テハ各稅務管理局ノ意見又ハ各地審査會ノ議決行政裁判所ノ判決等各其ノ解釋ヲ異ニシテ事兩端ニ出タルノ例乏シカラズ又山林ノ所得ハ一定ノ據ルベキ標準ナキカ故ニ各地ノ決定區々ニ涉ルノ弊ヲ矯正スルノ必要アルニ由リ本法ハ明治三十四年分所得税ヨリ適用スル旨公布セラレタリ

屯田兵及屯田兵村ニ給與シタル土地ノ登録税免除ニ關スル件三十四年四月九日法律第二十五號（官報四月十日）

屯田兵ノ負擔ヲ減シテ之カ獎勵ヲナサンカ爲メ登録税ヲ免除シ本法發布ノ日ヨリ之ヲ施行セラレタリ

登録税法中改正三十四年四月十二日法律第二十六號（官報四月十三日）

登録税法第二條第一項第二十二號及第三條第一項第十一號ハ不動産又ハ船舶一箇毎ニ其稅額ヲ定ムルヲ以テ時ニ負擔ノ稍重キニ過クルノ場合ヲ生スルコトナシトセス依テ最高限ヲ定メ稅額ヲシテ之ヨリ上ルコトナカラシムルヲ必要トスルニ由リ本法ヲ公布セラレタリ

水害地方田畑地租免除ニ關スル件三十四年四月十二日法律第二十七號（官報四月十三日）

水害ニ罹リ收穫皆無ニ歸シタル土地ノ地租ニ關シテハ明治二十九年以降年々特別法ヲ以テ之カ免除ヲ爲スコトヲ規定セラレタリ然ルニ事後ニ於テ法律ヲ制定スルトキハ之カ施行上相當ノ調査ヲ爲ス能ハサルカ故ニ其ノ處分タル往

々事實ニ適合セサルコトアルヲ免レス依テ之ヲ亘久ノ法律トシ災害ノ當時直ニ十分調査ヲ爲シ免租ノ必要アルモノニ對シテハ之カ地租免除ヲ爲サンカ爲メ本法ヲ公布セラレタリ

税關貨物取扱人法三十四年四月十二日(官報四月十三日) 日法律第二十八號

輸出入貨物ニ關スル取扱人ノ制度ヲ設ケ貨主ヲシテ其取扱人ニ信賴シ税關ニ對スル諸般ノ手續ヲ履行スルヲ得セシメ貨物ノ出入ヲ敏活ニシテ貿易上ノ利便ヲ圖ラン爲メ明治三十四年七月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

鐵下年期、新開免租年期、地價据置年期ノ延長ニ關スル件三十四年四月十二日(官報四月十三日) 日法律第三十號

開墾若クハ開拓ノ鐵下年期、新開免租年期又ハ地價据置年期ノ延長ニ付テハ地租條例ニ於テ未タ盡サ、ル所アルヲ以テ相當ノ規定ヲ設クルノ必要アリ爲メニ本法ヲ公布セラレタリ而シテ地租條例第十八條ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止セラレ

開墾地、開拓地、新開地年期繼續ニ關スル件三十四年四月十二日(官報四月十三日) 日法律第三十一號

開墾地、開拓地、新開地等ノ諸年期ニ付テハ地租條例ニ於テ盡サ、ル廉アルヲ以テ相當ノ規定ヲ設クルノ必要アリ爲メニ本法ヲ公布セラレタリ而シテ開墾着手後九年以内ニ又ハ鐵下年期、新開免租年期若ハ地價据置年期中ニ荒地免租年期又ハ低價年期ノ許可ヲ受ケ其年期明ニ至リ未タ地價ノ設定又ハ修正ヲ爲サ、ルモノニモ之ヲ適用ス

關稅定率法附屬輸入稅表中改正三十四年四月十二日(官報四月十三日) 日法律第三十二號

コブラハ石鹼ノ原料タル椰子油ヲ製出スル粗製原料品タルニ拘ラス加工品タル椰子油ト同一ニ一割ノ輸入稅ヲ課スルハ工業立國ノ方針ニ扞リ國富ノ増進ヲ防遏スルモノニシテ品質上當然免稅スヘキモノナリ又鐵鑛ハ支那朝鮮ヨリノ輸入ニシテ多クハ我製鐵所ノ需用ニ供セリ而シテ該所ノ擴張ニ由テ其需用額モ更ニ多キヲ加フルヲ以テ本品ノ關稅ヲ免除シ其利便ヲ得セシメン爲メ衆議院議員ヨリ本案ヲ提出シ帝國議會之ヲ可決ス而シテ本法ハ明治三十四年七月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

登錄稅法中改正三十五年二月二十日(官報二月二十四日) 日法律第八號

官有地ヲ開拓シテ民有地ニ歸シ土地臺帳ニ登錄ヲ請フ者ニハ新規登錄トシテ登錄稅ヲ課スルカ故ニ其鐵下年期付與ニ付テハ新開免租年期付與ト同シク登錄稅ヲ課セサルモノナルモ法文上聊カ明瞭ヲ欠クニ依リ之ヲ明ニシタルト明治三十四年法律第二十號ヲ以テ鐵下年期、新開免租年期、地價据置年期延長ノ許可ヲ規定シ地租條例第十八條ヲ廢止シタルカ爲メ現行法中改正ノ必要ヲ生シタルニ由リ本法ヲ公布セラレタリ

第五回內國勸業博覽會參考館ヘ陳列ノ爲輸入スル貨物關稅免除ニ關スル件三十五年二月二十日(官報二月二十七日) 六日法律第十號

第五回內國勸業博覽會參考館ヘ陳列ノ爲一時輸入シ再輸出スル外國貨物ノ關稅ヲ免除スルノ必要アルヲ以テ本法ヲ公布セラレタリ

關稅定率法附屬輸入稅表中改正三十五年三月十一日(官報三月十一日) 日法律第十七號

衛生ノ進歩ト共ニ鶏肉鶏卵ノ需用ハ益々増加シ隨テ近年支那鶏卵ノ輸入ハ年々多キヲ加ヘ爲メニ我養鶏業ノ發達ヲ壓倒セントスルノ状態タリ因テ輸入稅表中生卵ノ稅率ヲ改正シ我養禽業ノ發達ヲ獎勵セン爲メ衆議院議員ヨリ本案ヲ提出シ帝國議會之ヲ可決ス而シテ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト公布セラレタリ

營業稅法中改正三十五年三月十一日(官報三月十一日) 日法律第十八號

現行法ニ於テ政府カ營業者ノ申告シタル資本金額ヲ不相當ト認メ自ラ資本金額ヲ算定スルニ當リ營業ノ種類ニ拘ハラス營業ノ收入金額ヨリ營業費ヲ控除シ其ノ殘額ノ二十倍ヲ以テ資本金額ト爲シ又近傍ニ照準スヘキ借家ノキトキハ都鄙繁閑ニ拘ハラス其ノ土地家屋ノ時價ヲ各別ニ算定シ土地ハ其ノ百分ノ五家屋ハ其百分ノ十ヲ以テ其ノ貸賃價格ヲ定ムルカ如キハ甚タ其ノ當ヲ得ス故ニ營業ノ種類若クハ都鄙繁閑ニ依リ算定率ヲ區別セサルヘカラス依テ稅法中ヲ改正シ明治三十六年一月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

砂糖消費稅法中改正三十五年三月十一日(官報三月十二日) 日法律第二十一號

製造シタル砂糖、糖水又ハ酒精ニ課税スルト同時ニ其原料タル砂糖、糖蜜ニ對シ戻税ヲ爲スハ官民ノ共ニ不使ヲ感スル所ナルニ依リ其原料タル砂糖、糖蜜ニハ初メヨリ砂糖消費税ヲ課セサルノ必要アルニ由リ本法ヲ公布セフレタリ

課税標準額及税額計算ニ關スル件三十五年三月十一日(官報三月十二日) 日法律第二十二號  
諸税ノ賦課徴收ヲ爲サントスルヤ假令ハ三四厘ニ付二三錢ノ費用ヲ要スルカ如キハ徒ニ無用ノ手數ト冗費トヲ生スルコトアリ依テ四拾五入ノ法ヲ用キ賦課徴收上事務ノ敏活ト便益トヲ圖リ本法ヲ公布セラレタリ

沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徴收ニ關スル件三十五年三月十一日(官報三月十二日) 日法律第二十三號

沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅ノ徴收ニ付テハ明治二十二年勅令第四百一十一號ノ規定アリト雖モ其意納ノ場合ニ於ケル取扱方ニ付キ慣例ニ從フハ甚タ不便ナルヲ以テ國稅徴收法中滯納處分ノ例ニ依ラシムルヲ且トシテ本法ヲ制定シ六月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

蟲害地地租特別處分法三十五年三月十七日(官報三月十八日) 日法律第二十五號

明治三十四年徳島縣板野、勝浦、那賀等ノ各部ニ發生セル蟲害ノ如キハ其慘狀實ニ名狀スヘカラス故ニ是等ノ慘害ニ因リ收穫皆無トナリタル土地ニ對シテハ特ニ當年ノ地租ヲ免除シ之カ救済ノ道ヲ計ラサルヘカラス依テ本法ヲ公布セラレタリ

電害地地租特別處分法三十五年三月十七日(官報三月十八日) 日法律第二十六號

明治三十四年中栃木縣下都賀郡ニ於ケル電害ノ如キハ田畑ノ收穫多クハ皆無ニ歸シ其ノ慘狀實ニ名狀スヘカラス因テ此等被害ノ土地ニ對シテニ當年ノ地租ヲ免除シ之ヲ救済スルノ必要ヲ認メ本法ヲ公布セラレタリ

輸入原料砂糖戻税法三十五年三月二十五日(官報三月二十六日) 日法律第三十三號

本邦ニ於テ精製糖製造業ノ起ルヤ年尙淺シト雖モ己ニ輸入精糖ノ六分一強ハ我國ニ於テ現ニ製出スル所ニシテ原料ハ皆之ヲ外國ニ仰ケリ故ニ斯業ニ付大ニ將來ノ發達ヲ期センカ爲兼議院議員ヨリ本案ヲ提出シ帝國議會之ヲ可決ス

而シテ明治三十五年十月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

國稅徴收法中改正三十五年三月二十八日(官報三月二十九日) 日法律第三十六號

國稅徴收法施行後ノ實驗ニ照シ其規定ノ不備及不便ノ點ニ付之カ規定ヲ改正セラレタリ

第二章 勅令

明治三十四年法律第三十二號施行期日ノ件三十四年四月二十三日(官報四月二十四日) 日勅令第六十七號

明治三十五年法律第三十二號關稅定率法附屬輸入稅表中コブラ及鐵鑄關稅免除ノ件ハ明治三十四年十一月一日ヨリ施行スル旨公布セラレタリ

稅關假置場法施行規則中改正三十四年四月二十四日(官報四月二十五日) 日勅令第六十八號

從前神戸稅關ニハ假置場ヲ置カサリシカ今ヤ其設備成ル因テ該關ニ假置場ヲ新置シ又假置場使用料徴收上ノ便ヲ圖リ手數料ト均シク收入印紙ヲ以テ納付スルコトヲ得セシメンカ爲メ明治三十三年勅令第三百三十九號中ヲ改正シ明治三十四年五月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

間稅官吏服制中改正三十四年六月二十一日(官報六月二十二日) 日勅令第六十八號

從來服制ハ實施上不備ノ點不尠リシヲ以テ本令中改正セラレタリ

酒造稅法施行規則中改正三十四年八月二十三日(官報八月二十四日) 日勅令第六十四號

酒造稅法ノ改正ニ伴ヒ同施行規則モ亦改正ノ必要ヲ生セシニ由リ明治三十四年十月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

酒精及酒精含有飲料稅法施行規則三十四年八月二十三日(官報八月二十四日) 日勅令第六十五號

明治三十四年三月法律第八號ヲ以テ酒精及酒精含有飲料稅法公布セラレシニ伴ヒ之カ施行規則ヲ定ムルノ必要ヲ生セシニ由リ本規則ヲ公布セラレタリ

明治三十四年法律第十號施行規則三十四年八月二十六日(官報八月二十四日)

明治三十四年法律第十號ヲ以テ酒精、酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料輸出下戻金ニ關スル法律公布セラレシニ伴ヒ之カ施行規則ヲ定ムルノ必要ヲ生セシニ由リ本規則ヲ公布セラレタリ

醫藥用、工業用酒精戻稅法施行規則三十四年八月二十三日(官報八月二十四日)

明治三十四年法律第十一號ヲ以テ醫藥用、工業用酒精戻稅法ヲ公布セラレシニ伴ヒ之カ施行規則ヲ定ムルノ必要ヲ生セシニ由リ本規則ヲ公布セラレタリ

麥酒稅法施行規則三十四年八月二十三日(官報八月二十四日)

明治三十四年法律第十二號ヲ以テ麥酒稅法ヲ公布セラレシニ伴ヒ之カ施行規則ヲ定ムルノ必要ヲ生シ本規則ヲ公布セラレタリ

砂糖消費稅法施行規則三十四年八月二十三日(官報八月二十四日)

明治三十四年三月法律第十二號ヲ以テ砂糖消費稅法ヲ公布セラレシニ伴ヒ之カ施行規則ヲ制定スルノ必要ヲ生セシニ由リ本規則ヲ公布セラレタリ

間接國稅犯則者處分法施行規則中改正三十四年八月二十三日(官報八月二十四日)

酒精及酒精含有飲料稅法、麥酒稅法、砂糖消費稅法等制定施行セラレシニ伴ヒ犯則者處分法施行規則モ改正ノ必要ヲ生シ明治三十四年十月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

稅關管轄區域中改正三十四年八月二十六日(官報八月二十七日)

京都市ニ私設保稅倉庫營業ノ特許ヲ出願セル者アリ然ルニ山城國ハ稅關ノ管轄外ナルヲ以テ同國ヲ大阪稅關ノ管轄ニ屬セシムルノ必要アルニ依リ明治二十三年勅令第二百四號中ヲ改正セラレタリ

稅務管理局稅務署及管轄區域表中改正三十四年八月二十六日(官報八月二十七日)

砂糖消費稅法施行ノ爲メ伊豆國小笠原島ニ稅務署ノ新置ヲ要シ明治三十四年十月一日ヨリ施行セラレタリ

三十二年勅令第三百八十三號中改正三十四年十一月二十八日(官報十二月二十九日)

保稅倉庫法第四條ニ依ル通路ハ關稅法第三十五條ニ依ル通路ト同一ナルヲ要セサルノミナラス開港外ニ於ケル私設保稅倉庫ノ通路ノ如キハ特ニ指定ヲ要スルモノアリ且保稅倉庫法第四條ニ依ル通路ハ今後其必要ニ應シ變更スヘキ場合モ鈔ナカラサルヘキニ依リ該通路ハ省令ヲ以テ之ヲ定ムル方時宜ニ適スルヲ以テ本勅令中「及保稅倉庫法第四條」ノ九字ヲ削除セラレタリ

稅務管理局稅務署及管轄區域表中改正三十五年一月十日(官報一月十七日)

交通機關ノ發達ニ伴ヒ稅務管理局稅務署名中廣島稅務管理局山口縣ノ部長府ヲ下ノ關ニ熊本稅務管理局福岡縣ノ部置屋ヲ折尾ニ改メ明治三十五年二月一日ヨリ施行セラレタリ

稅關ニ於テ臨時出務シタル稅關官吏及傭人ニ手當金支給ノ件三十五年二月十二日(官報二月十三日)

從來稅關ニ於テ臨時開關、貨物積卸其他ノ特許ヲ與ヘタル場合ニ臨時出務シタル官吏及傭人ニ對シ豫算内ノ以テ手當金支給セラレタレトモ別ニ規定ナキニヨリ更ニ之カ給與ノ規定ヲ設クル必要ヲ認メ本令ヲ發布セラレタリ

砂糖消費稅法施行規則中改正三十五年三月二十五日(官報三月二十六日)

明治三十五年三月法律第二十一號ヲ以テ砂糖消費稅法中改正セラル之ニ伴ヒ同施行規則モ亦改正ノ必要ヲ生シ明治三十五年四月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

稅關支署名稱位置及管轄區域表中改正三十五年三月二十五日(官報三月二十六日)

東京ニ於ケル私設保稅倉庫ニ關スル事務ヲ處理セシムル爲メ東京ニ稅關支署ヲ新置スルノ必要アルヲ以テ明治三十二年勅令第六十九號中ヲ改正シ明治三十五年四月一日ヨリ施行ノ旨公布セラレタリ

薩島在勤者手當支給ノ件三十五年三月二十五日(官報三月二十六日)

交通至難ノ島嶼ニ設置シタル稅務署ニ在勤スル稅務屬、技手、雇員ニ月手當ヲ給スル必要アルニ依リ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行セラレタリ

明治三十五年法律第十七號施行期日ノ件三十五年三月二十七日官報三月二十八日

明治三十五年法律第十七號關稅定率法附屬輸入稅表中生卵ノ稅率改正ノ件ハ明治三十五年十月一日ヨリ施行スル旨公布セラレタリ

明治三十三年勅令第四十七號中改正三十五年三月二十七日官報三月二十八日

北海道二級町村制ヲ四月一日ヨリ施行セラルヘキ地方ヲ國稅徵收法第三十三條第三項ニ依ル公共團體ト指定スルノ必要アルニヨリ明治三十三年勅令第二百六十號ノ規定ヲ斟酌シテ之ヲ追加指定シ明治三十五年四月一日ヨリ施行シ同時ニ勅令第二百六十號ヲ廢止セラル

第三章 省令

國稅徵收法施行細則中削除三十四年四月十八日本省令第二號

本年五月一日ヨリ爲替納金取扱廢止セラル、ニ付之ニ關シテ規定セラレタル第八條ヲ削リ五月一日ヨリ施行セラレタリ

水害地方田畑地租免除請願方三十四年四月十八日本省令第三號

被害ノ種類及時日ヲ記載シ收穫ノ皆無ヲ證明シ出願セシムルノ必要アルニ由リ本令ヲ發セラレタリ

稅關貨物取扱人法施行細則三十四年五月二十七日本省令第八號

明治三十四年法律第二十八號稅關貨物取扱人法公布ニ依リ施行上細則ヲ定ムルノ必要アルヲ以テ本令ヲ發セラレ而シテ明治三十四年七月一日ヨリ施行セラル

稅務支署位置管轄區域三十四年六月一日本省令第九號

明治三十四年五月勅令第一百三號ヲ以テ稅務管理局官制中改正セラレ稅務支署ヲ設ケラレタルヲ以テ其位置及管轄區域ヲ定メ砂糖消費稅ニ關スル事務ヲ取扱ハシム

土地臺帳規則施行細則中改正三十四年六月十八日本省令第八號

土地臺帳規則施行細則第五條ハ土地臺帳ト登記簿トノ一致ヲ保チ且登錄稅ノ徵收ヲ全フスルカ爲メ曩ニ追加セラレタルモノニシテ此ノ目的ハ略ホ之ヲ達シタルモ土地收用法ニ依リ收用セラレタル土地ノ如キハ被收用者ニ於テ豫メ保存ノ登記ヲ爲スカ如キハ事實望ムヘカラサルコトニ屬スルヲ以テ之カ改正ノ必要アルニ由リ細則第五條中「土地所有權」ノ上ニ「既登記」ノ三字ヲ追加セラレタリ

明治三十二年大藏省令第五號中改正三十四年八月三日本省令第十六號

明治三十四年四月法律第十六號ヲ以テ印紙稅法第六條中稅印押捺ニ關スル分改正セラレシニ伴ヒ改正ノ必要ヲ生ゼシニ由ル而シテ本令ハ明治三十四年十月一日ヨリ施行セラル

國稅徵收法施行細則中改正三十四年九月二十七日本省令第十八號

納稅人カ指定納付場所以外ノ地ニ於テ納稅スルヲ使トスル場合ニ指定納付場所ノ變更ヲ求ムルコトヲ得センムルコト便ナルト新ニ稅務支署ヲ置カレタルヲ以テ之ニ關スル規定ヲ追加スルノ必要アルトニヨリ之ヲ改正セラレタリ

橫濱稅關鐵棧橋修繕工事請負競争資格ノ件三十四年十月二日本省令第十九號

橫濱稅關鐵棧橋修繕工事ハ最モ周到ヲ期スルヲ以テ會計規則第六十九條ノ外特ニ請負人ノ資格ヲ限定スルノ必要アルニ由リ發布セラレタリ

土地臺帳規則施行細則第四條中改正三十四年十一月二十一日本省令第二十四號

未登記ノ土地ニ關スル權利ノ移轉設定類繁ナルカ爲メ謄本下付ノ請求甚タ多クシテ現行ノ土地臺帳謄本ノ雜形ハ皆ニ適切ナラサルノミナラス一筆毎ノ一用紙ニ限ラレタレバ數筆連記ノ方法ヲ採ル能ハスシテ官民ノ不便不尠ニ由リ



改正追加セラレタリ

保稅倉庫法第四條ノ通路指定ノ件三十四年十一月三十日  
本令第二十五號

明治三十二年勅令第三百八十三號中改正ノ結果保稅倉庫法第四條ニ依ル通路ノ指定ヲ要スルヲ以テ本令ヲ發セラレタリ

韓國ニ於テ收入印紙賣下ノ件三十四年十二月四日  
本令第二十七號

收入印紙ニ付テハ最早韓國ニ於テモ邦貨ヲ以テ賣下クルコトヲ得ルカ故ニ特別ノ符號アル印紙ヲ賣捌クノ必要ナキニ由リ本令ヲ發セラレタリ

明治三十三年大藏省令第二十六號廢止ノ件三十四年十二月二十八日  
本令第二十九號

北清事變既ニ鎮定ニ歸シタルノ今日ニ於テ馬匹ノ輸出ヲ禁止シ置クノ必要ナキニ依リ本令ヲ以テ之ヲ廢止セラレタリ

明治三十四年大藏省令第二十五號中改正三十五年二月二十七日  
本令第二號  
東京小名木川及京都ニ於ケル私設保稅倉庫ニ貨物運搬ノ通路ヲ定ムルノ必要ヲ生シタルヲ以テ本令中ヲ改正セラレタリ

蟲害地及電害地地租免除申請方三十五年三月十九日  
本令第三號

地租ノ免除ヲ請ハムトスル者ハ收穫皆無タリシ事實ヲ證明シ願書ヲ所轄稅務署ニ差出方ヲ定メラレタリ

明治三十二年大藏省令第十四號中改正三十五年三月二十七日  
本令第四號

明治三十五年勅令第五十二號ヲ以テ東京ニ稅關支署ヲ新置セラレタルニ依リ築地稅關監視署ハ存置スルノ必要ナキヲ以テ本令中同監視署ノ項ヲ削除セラレタリ而シテ明治三十四年四月一日ヨリ施行セラル

島嶼在勤者ニ月手當ヲ給與スヘキ場所及給與細則三十五年三月二十七日  
本令第五號

離島在勤稅務官吏及雇員ニ月手當ヲ給與スルノ勅令發布セラレタルニ付之カ場所及給與細則ヲ定メラレタリ

#### 第四章 訓令

諸收入收納取扱規程中改正三十四年四月一日  
本令第十二號

監獄ノ收入中北海道廳、沖繩縣及東京府下小笠原島ニ於ケルモノハ本省主管ニ屬シタルトモ之ヲ司法省主管ニ移スヲ便トセルヲ以テ第一條但書中削除シ三十四年度ヨリ施行セラレタリ

內國稅徵收費科目中改正三十四年四月四日  
本令第十三號

曩ニ內國稅徵收費科目中雜給及雜費ノ項雜費ノ目中諸手数料ノ節ヲ設置シタルヲ以テ同目中度量衡受檢費モ同節ヨリ支辨シ得ルニヨリ之ヲ削除セラレタリ

明治三十四年度大藏省所管歲入科目三十四年四月八日  
本令第十四號

明治三十四年度大藏省所管歲入科目表ヲ定メラレタリ

明治三十四年度歲入科目中追加三十四年四月十七日  
本令第十五號

明治三十四年度歲入科目表歲入經常部第一款租稅中ニ第十四項舊稅追納第一目北海道水產稅第二目地租割第三目戶數割第四目雜種稅ノ項目ヲ追加セラレタルハ賦課洩測定ト前年度ヨリ繰越シタルモノアルニ由ル

甲乙兩廳間歲入金取扱順序廢止三十四年四月二十四日  
本令第十六號

歲入徵收官ハ納人者ノ便宜ノ爲メ、金庫出納區域ニ關セス適宜納入金庫ヲ指定シ得ルコトヲナリタルヲ以テ本順序存置ノ必要ナキニ至レルニヨリ五月一日ヨリ之ヲ廢止セラレタリ

明治三十四年度歲入科目中追加三十四年五月三日  
本令第十七號

明治三十四年度歲入科目表歲入經常部第一款租稅第十四項舊稅追納中ニ第五目營業稅ノ目ヲ追加セラレタルハ前年度ヨリ繰越シタルモノアルニ由ル

明治三十四年度歲入科目中追加三十四年五月八日  
本令第十八號

明治三十四年度歳入科目表歳入經常部第三款官業及官有財産收入第四項官有物貸下料中第三目物品貸下料ノ目ヲ追  
加セラレタルハ國庫費ヲ以テ購入シタル物品ノ貸下料ノ收入アルニ由ル

關稅噸稅及稅關雜收入取扱規程中改正三十四年六月三日  
本省訓令第十九號

本年四月二十四日本省訓令第十六號ノ趣旨ニ依リ第二條ヲ削除セラレタリ

諸收入收納取扱規程中追加三十四年六月四日  
本省訓令第二十號

北海道ニ於ケル徵收事務ハ交通不便等特殊ノ事情ニ依リ常ニ延滞スルヲ免レサルカ故ニ取扱ノ敏捷ヲ期センカ爲メ  
各支廳長ヲ歳入徵收官ニ準シ直接ニ事務取扱ヲ爲サシムルコト、シ七月一日ヨリ施行セラレタリ

明治三十四年度歳入科目中追加三十四年六月十九日  
本省訓令第二十一號

明治三十四年度歳入科目表歳入臨時部中ニ第七款獻納金第一項軍資獻納金第一且軍資獻納金ノ目ヲ追加セラレタル  
ハ軍資獻納セシモノ、收入アルニ由ル

明治三十四年度歳入科目中追加三十四年六月二十二日  
本省訓令第二十二號

明治三十四年度歳入科目表歳入臨時部第二款雜收入中第四項利子收入第一目利子收入ノ項目ヲ追加セラレタルハ明  
治二十七年法律第十六號ニヨリ日本銀行ヘ預入金ニ對シ利子ノ收入アルニ由ル

狩獵免許稅報告ニ關スル件訓令改正三十四年七月五日  
本省訓令第二十五號

明治三十四年法律第三十三號ヲ以テ狩獵法ヲ公布セラレシニ伴ヒ明治三十一年訓令第十四號中改正セラレタリ

內國稅徵收費科目中改正三十四年七月十日  
本省訓令第二十七號

砂糖消費稅法施行ニ付砂糖鑑定及分析費ヲ要スル爲メ內國稅徵收費科目中應費ノ項鑑定及分析諸費ノ目解款中「酒  
類」ノ消除ヲ要シ改正セラレタリ

諸貸付金取扱規程中改正三十四年七月十一日  
本省訓令第二十八號

毎年度末諸貸付金現在額及増減額報告書々式中債務者(保證人)氏名別表ヲ削リ報告上煩ヲ避クルコトニセラレタ

國稅滯納處分報告表書式改正三十四年八月十日  
本省訓令第二十九號

調査ノ複雑ヲ避ケ其事項ヲ簡明ナラシメ以テ報告期ヲ短ルコトナカラシメンカ爲メ明治三十一年二月大藏省訓令第  
十一號中第七號書式改正セラレタリ

府縣稅滯納處分報告表書式改正三十四年八月十日  
本省訓令第三十號

同上ノ趣旨ニ因リ明治三十一年四月大藏省訓令第二十九號府縣稅滯納處分報告表書式更正セラレタリ

諸稅檢査檢査定簿等様式三十四年八月二十九日  
本省訓令第三十一號

現行諸檢査簿ノ改正并ニ麥酒砂糖等ノ新稅ニ關スル檢査定簿ノ様式ヲ新ニ規定ノ必要アルニヨリ更ニ本令ヲ以テ  
酒造稅醬油稅酒精及酒精含有飲料稅麥酒稅ニ關スル檢査、檢定、査定簿及砂糖消費稅ニ關スル檢査簿査定書様式ヲ  
定メ明治三十四年十月一日ヨリ(醬油稅ニ限リ明治三十五年一月一日ヨリ)施行セラレ同時ニ明治二十七年五月大藏省訓令第二十八號及明

治三十年九月大藏省訓令第五十二號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止セラレタリ

國稅ニ關スル諸帳簿様式中改正三十四年八月二十九日  
本省訓令第三十二號

稅務署ニ設備スヘキ國稅ニ關スル諸帳簿様式中改正并ニ追加ノ必要ヲ生シタルニ由ル  
租稅現況報告様式中改正三十四年九月二十日  
本省訓令第三十三號

稅法改廢ノ爲メ明治三十二年八月本省訓令第六十號様式中自然削除更正ヲ要スルモノアリ又酒精及酒精含有飲料稅  
醫藥用、工業用酒精戻稅、麥酒稅、砂糖消費稅ニ關スル報告様式ヲ追加セラレタリ

明治三十四年内務省令第二十四號ニ依リ通知ヲ受ケタルトキ土地臺帳登錄ノ件三十四年九月二十五日  
本省訓令第三十四號

永代借地權ノ抹消ヲ受ケタルトキ所有權取得ノ通知ヲ稅務署ニ爲シタル場合ハ一種特殊ノ方法ニ依リ所有權ヲ取得

シタル場合ニ係ルヲ以テ特ニ訓令ヲ發シ稅務署ハ其土地ニ付土地臺帳登錄ノ手續ヲ爲スヘキ旨注意セラレタリ  
稅關及稅務管理局收入官吏配置方中改正三十四年九月二十六日  
本省訓令第三十五號

新ニ稅務支署ヲ置カレタルヲ以テ之ニ伴ヒ其規定ヲ追加セラレタリ

國稅徵收事務取扱上諸帳簿及報告書調製方中改正三十四年九月二十六日  
本省訓令第三十六號

全上ノ趣旨ニ依リ及砂糖消費稅法施行ニ伴フ收入事務取扱方ニ付キ之カ規定ヲ追加セラレタリ

明治三十四年度歲入科目中追加三十四年十月九日  
省訓令第三十八號

明治三十四年度歲入科目表歲入經常部第一款租稅第四項酒稅ノ項中ニ第五目酒精及酒精含有飲料稅ノ目ヲ追加セラ

レタルハ明治三十四年三月法律第八號酒精及酒精含有飲料稅法ニヨリ造石稅ヲ收入スルモノアルニ由ル

稅務統計臺帳調製規程三十四年十月二十三日  
本省訓令第三十九號

稅務管理局ニ於ケル稅務ノ統計ハ一ニ其局ノ方針ニ依リ隨意調製シ來リタルノ結果偶々其調査アリト雖モ區々ニシ  
テ一定セス時ニ必要ナル部分ヲ缺キ或ハ實益ニ乏シキモノアルヲ見ル況ンヤ其一様ノ材料ヲ徵收セントスルニ當リ  
テハ各局直チニ牒寫報告スルノ便ナク更ニ幾多ノ日時ト手數ヲ費ヤスモ其編成ニシテ往々正鵠ヲ得サルモノナキニ  
非ラス如此執務ノ進捗ヲ妨ケ運用ノ資乏シキハ畢竟統計ノ不備ニシテ統一ヲ缺キ諸般ノ企圖籌策ハ統計ニ據ルヲ致  
サスシテ其前後ヲ誤ルニ基因セスンハアラス仍テ統計事務ノ改善ヲ計ラムカ爲メ先ツ第一着手トシテ稅務統計臺帳  
ヲ設備スルコトノ必要ヲ認メ本規程ヲ發セラレタリ

明治三十四年度歲入科目中追加三十四年十月二十四日  
本省訓令第四十號

明治三十四年度歲入科目表歲入經常部第四款雜收入第五項雜入中ニ第九目學校生徒授業料ノ目ヲ追加セラレタルハ

前年度ヨリ繰越シタルモノアルニ由ル

明治三十四年度歲入科目中追加三十四年十一月十四日  
本省訓令第四十三號

明治三十四年度歲入科目表歲入經常部第一款租稅第九項兌換銀行券發行稅ノ項中ニ第二目兌換銀行券制限外發行稅  
ノ目ヲ追加セラレタルハ明治十七年布告第十八號兌換銀行券條例ニヨリ制限外發行稅ヲ收入スルモノアルニ由  
ル

內國稅徵收費科目中改正三十五年三月二十五日  
本省訓令第十一號

稅務支署ニ於テ砂糖消費稅徵收ノ爲メ臨時勤勞手當及離島在勤者ニ手當ヲ支給スル爲メ內國稅徵收費科目雜給及雜  
費ノ項給與ノ目中末位ニ臨時勤勞手當、在勤者手當、ノ二節ヲ追加セラレタリ

國稅ニ關スル諸帳簿樣式中改正三十五年三月二十六日  
本省訓令第十二號

明治三十五年法律第十二號ヲ以テ砂糖消費稅法中原料糖ニ關スル規定ヲ改正セラレ從テ明治三十二年六月本省訓令

第四十五號樣式中改正ヲ加ヘラレタリ

租稅現況報告樣式中改正三十五年三月二十六日  
本省訓令第十三號

明治三十五年法律第二十一號ヲ以テ砂糖消費稅法中原料糖ニ關スル規定ヲ改正セラレ從テ明治三十三年八月本省訓  
令第六十號中砂糖查定高表樣式ヲ改正セラレタリ

明治三十五年度大藏省所管歲入科目三十五年三月二十七日  
本省訓令第十四號

明治三十五年度大藏省所管歲入科目表ヲ定メラレタリ

第五章 告示

熊本稅務管理局移轉三十四年四月六日  
本省告示第十二號

明治三十四年四月一日熊本稅務管理局熊本山崎町七十八番ノ五へ移轉ノ旨告示セラレタリ

明治三十三年大藏省告示第十六號中改正三十四年五月一日  
本省告示第十七號

稅關假置場法施行規則第一條ニ神戸稅關ヲ加ヘラレシヲ以テ同規則第二條ニ依リ地區ノ指定ヲ要スルヲ以テ本告示

中ヲ改正セラレタリ

青森稅務管理局及青森稅務署移轉三十四年五月三十一日  
本署告示第二十八號

明治三十四年六月二日青森稅務管理局及青森稅務署青森市大字濱町百十三番戶へ移轉ノ旨告示セラレタリ

内外貨幣比較表三十四年六月一日  
本署告示第二十九號

明治三十四年七月一日ヨリ同年九月三十日マテ稅關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣ノ比較ハ明治三十四年大藏省告示第五號比較表ニ依ルヘキ旨告示セラレタリ

札幌稅務管理局移轉三十四年六月十三日  
本署告示第三十一號

明治三十四年六月四日札幌稅務管理局札幌區北三條西七丁目一番地へ移轉ノ旨告示セラレタリ

松山稅務管理局移轉三十四年七月五日  
本署告示第三十六號

明治三十四年七月五日松山稅務管理局松山市大字萱町三丁目五十一番地へ移轉ノ旨告示セラレタリ

内外貨幣比較表三十四年九月二日  
本署告示第四十一號

明治三十四年十月一日ヨリ同年十二月三十一日マテ稅關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣ノ比較表ヲ告示セラレタリ

札幌稅務管理局管内上川稅務署開廳三十四年十一月一日  
本署告示第四十九號

明治三十四年十一月四日ヨリ開廳ノ旨告示セラレタリ

内外貨幣比較表三十四年十二月二日  
本署告示第五十六號

明治三十五年一月一日ヨリ同年三月三十一日マテ稅關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表ヲ告示セラレタリ

札幌稅務管理局移轉三十五年二月十五日  
本署告示第四號

明治三十五年二月十日札幌稅務管理局札幌區大通西七丁目三番地へ移轉ノ旨告示セラレタリ

内外貨幣比較表三十五年三月一日  
本署告示第八號

明治三十五年四月一日ヨリ同年六月三十日マテ稅關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表ヲ告示セラレタリ

第十三款 稅關事項

第一章 噸稅ヲ一時ニ納付スル船舶ト否トノ區別

三十四年中各稅關ニ噸稅ヲ納付セシ入港船舶ノ艘數ヲ舉レバ一ヶ年一時納付ノ者内國船ニ貳百八拾五艘、外國船ニ百九拾貳艘、計四百七拾七艘ナリ又一ヶ年分一時納付濟ノ船舶ニシテ有効期間内ニ數回入港セシ者内國船貳千四百九拾艘、外國船千百拾七艘、計參千六百七艘、又一回分納付ノ者内國船千五百九拾七艘、外國船九百拾六艘、計貳千五百拾參艘、以上合計内國船四千參百七拾貳艘、外國船貳千貳百貳拾五艘、計六千五百九拾七艘ナリ今之ヲ前年ニ對照スルトキハ外國船ニ於テハ四百九拾八艘ヲ減タルニモ拘ラス内國船ニ六百六拾七艘ヲ增加セシ爲メ差引百六拾九艘ノ増加ナリトス以上船舶ノ噸數ハ一ヶ年一時納付ノモノ内國船參拾貳萬六千六百貳拾七噸、外國船五拾萬千四百貳噸、計八拾貳萬八千貳拾九噸外ニ一時納付ノモノニシテ再度以上入港セシ船舶ノ噸數ヲ積算スレハ内國船貳百七拾九萬參千五拾四噸、外國船貳百八拾五萬貳千九百九拾參噸、計五百六拾四萬六千四拾七噸又一回分納付ノモノハ内國船八拾貳萬四千五百參拾壹噸、外國船四百參萬八千四百五拾參噸、計四百八拾六萬貳千九百八拾四噸、以上合計ニ於テハ内國船參百九拾四萬四千貳百拾貳噸、外國船七百參拾九萬貳千八百四拾八噸、計千百參拾參萬七千六拾噸トス更ニ之ヲ前年ニ對照スルトキハ内外國船通シテ百六萬五千七百八拾五噸ノ増加ナリトス今之ヲ各稅關ニ就テ觀察スルトキハ内外ヲ通シテ艘數、噸數共ニ最モ多キハ長崎ニシテ之ニ次ク神戸、橫濱、函館、大阪、新潟トス即チ左表ノ如シ

噸稅ヲ一時ニ納付スル船舶ト否トノ區別 其一

稅關名	船舶別	噸數	
		噸數	噸數
橫濱	内國船	三十四年三十三年比較増△減	三十四年三十三年比較増△減
	外國船	三十四年三十三年比較増△減	三十四年三十三年比較増△減
神戸	内國船	三十四年三十三年比較増△減	三十四年三十三年比較増△減
	外國船	三十四年三十三年比較増△減	三十四年三十三年比較増△減
大阪	内國船	三十四年三十三年比較増△減	三十四年三十三年比較増△減
	外國船	三十四年三十三年比較増△減	三十四年三十三年比較増△減
長崎	内國船	三十四年三十三年比較増△減	三十四年三十三年比較増△減
	外國船	三十四年三十三年比較増△減	三十四年三十三年比較増△減
新潟	内國船	三十四年三十三年比較増△減	三十四年三十三年比較増△減
	外國船	三十四年三十三年比較増△減	三十四年三十三年比較増△減
合計	内國船	三十四年三十三年比較増△減	三十四年三十三年比較増△減
	外國船	三十四年三十三年比較増△減	三十四年三十三年比較増△減

噸稅ヲ一時ニ納付スル船舶ト否トノ區別

税關名	船別	三十四年三十三年度比較増減				三十四年三十三年度比較増減				三十四年三十三年度比較増減				合計
		一ヶ年一時納付	同上	一回分納付	合計	一ヶ年一時納付	同上	一回分納付	合計	一ヶ年一時納付	同上	一回分納付	合計	
神戶	〃	六三	六三	〃	〃	六三	六三	〃	〃	六三	六三	〃	〃	六三
大阪	〃	一三三	一三三	〃	〃	一三三	一三三	〃	〃	一三三	一三三	〃	〃	一三三
長崎	〃	一七三	一七三	〃	〃	一七三	一七三	〃	〃	一七三	一七三	〃	〃	一七三
函館	〃	二一	二一	〃	〃	二一	二一	〃	〃	二一	二一	〃	〃	二一
新潟	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
總計	〃	四七七	四七七	〃	〃	四七七	四七七	〃	〃	四七七	四七七	〃	〃	四七七

噸稅ヲ一時ニ納付スル船舶ト否トノ區別 其二

税關名	船別	三十四年三十三年度比較増減				三十四年三十三年度比較増減				三十四年三十三年度比較増減				合計
		一ヶ年一時納付	同上	一回分納付	合計	一ヶ年一時納付	同上	一回分納付	合計	一ヶ年一時納付	同上	一回分納付	合計	
神戶	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇
大阪	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇
長崎	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇
函館	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇
新潟	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇	一〇〇	〃	〃	一〇〇
總計	〃	五〇〇	五〇〇	〃	〃	五〇〇	五〇〇	〃	〃	五〇〇	五〇〇	〃	〃	五〇〇

第二章 臨時開港其他特許手数料

三十四年間に於テ各税關ノ取扱ヒタル臨時開港特許ノ件數ハ四千零百貳拾叁件ニシテ此特許手数料ハ五萬七千八百七拾四圓ナリ就中件數ノ著シク多キハ長崎税關ノ叁千百貳拾六件ニシテ手数料一萬九千貳拾六圓ナリ而シテ如斯件數ノ第一位ヲ占ムル所以ハ該税關ハ其管轄スル所ノ支署ノ數多キカ爲メナリ之ニ反シテ手数料ノ最モ多キハ神戸税關ノ貳萬四千五百五拾五圓ニシテ件數僅カニ五百八拾五件ナルハ本關ニ屬スル所ノ手数料ノ多額ヲ要スル特許申請ノ多カリシ爲メナリ而シテ該税關ニ減ケルモ亦尙シ更ニ之ヲ三十二年ニ對照スルトキハ件數ニ在テハ各關稅レモ多少ノ減少

臨時開港其他特許手数料

ヲ觀ルニモ拘ハラズ單リ長崎税關ニ於テ著シキ増加ヲ呈セシメ各關通シテ四百九拾壹件ノ増差ヲ顯ハセリ之ニ反レテ手數料ニ於テハ長崎税關ニ増加アルニモ拘ハラズ各關總テ多少ノ減差ヲ呈セシメ結局總計ニ於テ千參百參拾八圓ヲ減少セリ

又貨物積卸送致引取及發送ノ件數ハ總計六千八百七十七件ニシテ此特許手數料七萬八千七百拾九圓トス而シテ件數ノ最も多キハ長崎ニシテ貳千六百六拾件手數料貳萬八千五百拾四圓ナリ之ニ反シテ神戸ハ件數貳千參百五拾參件ニシテ長崎ヨリモ少キニ拘ハラズ手數料參萬參千五百八拾四圓ナルハ前項ノ理由ニ同シ今之ヲ前年ニ比較スルトキハ件數ノ總計ニ六百貳件ヲ減セシハ大阪、長崎ニ僅カニ増加ヲ觀ルノ外執レモ減少セシニ由ル又手數料ハ單ニ長崎ニ僅少ノ増加アルノ外執レモ減差ナラサルハナク就中橫濱ニ著シキ減少アルニ基因ス

構外検査ノ件數ハ各關通シテ八百四拾壹件此手數料四千參百四拾圓ニシテ前年ニ比シ件數百四拾件手數料千貳百七拾六圓ノ減少ヲ顯ハセシハ件數ハ神戸、新潟ニ手數料ハ神戸、新潟、大阪ニ僅カニ増差ヲ觀ルノ外執レモ減差ナラサルハナク就中橫濱ニ最も多クヲ減シタルニ由ル

假置場開扉ハ單ニ橫濱税關ニ係ルモノニシテ件數貳拾六件手數料百拾八圓ナリ而シテ前年ニ於テハ之ニ比スヘキモノナシ

保税倉庫開扉モ亦橫濱税關ノミ件數僅カニ四件手數料四拾參圓アリテ前年ニ於テ比スヘキモノナシ

以上各種通シテ件數壹萬貳千壹拾四圓九拾四圓ニシテ前年ニ對照シ八百八拾五件、壹萬八百八拾五圓ノ減少ナリ而シテ件數ノ最も多キハ長崎ニシテ之ニ次クヲ神戸、橫濱、函館、大阪、新潟ナルモ手數料ハ神戸第一位ヲ占メ之ニ次クヲ長崎、橫濱、函館、大阪、新潟ナリトス即チ左表ノ如シ

臨時開應其他特許手數料

其一

税關名	臨時開應其他特許手數料		貨物積卸送致引取及發送	
	件數	料	件數	料
總計	三十四年 三十三三年 比較増△減	三十四年 三十三三年 比較増△減	三十四年 三十三三年 比較増△減	三十四年 三十三三年 比較増△減
大 神 橫	二七五	二八〇	二七五	二八〇
新 函 長	二七五	二八〇	二七五	二八〇
大 神 橫	二七五	二八〇	二七五	二八〇
計	二七五	二八〇	二七五	二八〇

臨時開應其他特許手數料

其二

税關名	臨時開應其他特許手數料		假置場開扉	
	件數	料	件數	料
總計	三十四年 三十三三年 比較増△減	三十四年 三十三三年 比較増△減	三十四年 三十三三年 比較増△減	三十四年 三十三三年 比較増△減
大 神 橫	二七五	二八〇	二七五	二八〇
新 函 長	二七五	二八〇	二七五	二八〇
大 神 橫	二七五	二八〇	二七五	二八〇
計	二七五	二八〇	二七五	二八〇

臨時開應其他特許手數料

其三

税關名	臨時開應其他特許手數料		保稅倉庫開扉	
	件數	料	件數	料
總計	三十四年 三十三三年 比較増△減	三十四年 三十三三年 比較増△減	三十四年 三十三三年 比較増△減	三十四年 三十三三年 比較増△減
大 神 橫	二七五	二八〇	二七五	二八〇
新 函 長	二七五	二八〇	二七五	二八〇
大 神 橫	二七五	二八〇	二七五	二八〇
計	二七五	二八〇	二七五	二八〇

臨時開應其他特許手數料

其四





區別	三十四年		三十三年		比較増減		三十四年		三十三年		比較増減		三十四年		三十三年		比較増減	
	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減
官	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
私	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
總計	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

保稅倉庫其他貨物噸量

共 二

區別	三十四年		三十三年		比較増減		三十四年		三十三年		比較増減		三十四年		三十三年		比較増減	
	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減	額	比較増減
官	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
私	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
總計	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

第五章 保稅倉庫貨物出入

三十四年ニ於テハ保稅倉庫貨物出入ノ其況ハ入庫貨物ニ在テハ官設百五拾七萬貳千五百八拾壹圓私設百拾萬七千七百七拾參圓合計參百六拾八萬參百五拾四圓トス之ヲ前年ニ比スレハ官設ニ拾萬四千六百拾七圓私設ニ拾六萬六千三百八拾四圓合計貳拾七萬千壹圓ヲ減少セシハ横濱、函館ノ二關ニ於テ増加アルニモ拘ハラズ神戸ニ最モ減少多キト長崎ノ減差トニ由ルモノトス出庫貨物ニ在テハ官設百六拾六萬八千參百參拾圓私設百九拾四萬五千六百六拾六圓合計參百六拾壹萬參千四百九拾六圓ニシテ入庫ニ反シテ官設ニ參拾壹萬四千八百參拾四圓私設ニ參拾六萬參千六百八拾壹圓合計六拾七萬八千五百拾八圓ノ超過ヲ顯ハセシハ單ニ長崎ニ減少ヲ觀ルノ外各關孰レモ増差ヲ呈セシニ由ル以上入庫出庫合計ニ於テハ官設參百貳拾四萬九百拾壹圓私設四百五萬貳千九百參拾九圓合セテ七百貳拾九萬參千八百五拾圓ニシテ前年ニ對照スルトキハ入庫ニ在テハ官私設共ニ孰レモ減差ナルモ出庫ニ於テハ孰レモ増差ヲ呈シ差引合計ニ於テハ官設ニ貳拾壹萬貳百拾九圓私設ニ拾九萬七千貳百九拾八圓計ニ四拾萬七千五百拾七圓ヲ増加セリ

茲ニ貨物ノ年末現在價額ヲ舉クレハ横濱ハ官設ニ貳拾四萬貳千九百拾四圓私設ニ六拾貳萬參千五百八拾六圓神戸ハ官

保稅倉庫貨物出入



查艘ヲ減シタルニモ拘ハラズ本邦ハ五拾六艘ヲ増加セシ爲メ結局參拾八艘ノ増差ヲ呈セリ又噸數ハ英吉利、佛蘭西、埃  
 爾利ニ減シタルモ本邦獨逸ニ増加シ總計ニ拾萬百七拾九噸ヲ増加セリ而シテ繫船料ハ本邦千六百四拾貳圓ヲ増スノ外  
 英吉利千七百參拾九圓獨逸百貳拾五圓佛蘭西四百九拾圓埃地利百七拾壹圓ヲ減シ差引總計ニ於テハ八百八拾參圓ノ減  
 差ヲ顯ハセリ即チ左表ノ如シ

國名	繫留船數		噸數		繫船料	
	三十四年	三十三年	三十四年	三十三年	三十四年	三十三年
日本	五八	三三	一三六,六四〇	六,三四一	一,七八八	一,二六四
英吉利	一六	二九	四四,四七〇	七四,七九二	一,八六四	三,六〇三
佛蘭西	二五	二九	一八,七三九	一一,六五四	四,八〇六	四,五二一
獨逸	二六	二六	五四,三二八	五七,三六六	二,九四八	三,四三八
埃地利	一	一	三,八〇〇	三,八〇〇	一,七二一	四,九〇〇
總計	一二五	八七	三五四,一七九	二五四,〇〇〇	一三,八八六	二二,六八九
比較増減						
噸數	△	△	△	△	△	△
繫船料	△	△	△	△	△	△

橫濱稅關棧橋繫留船舶

第十四款 局務雜事

第一章 分課規程

明治三十三年五月大藏省分課規程ヲ改定シ同月二十日ヨリ施行セラレタリ其本局ニ係ルモノハ前同年報ニ掲載セシ以  
 降變更ナキニ由リ茲ニ之ヲ省略セリ

第二章 職員

三十五年三月三十一日現在ノ本局職員ハ勅任局長壹人奏任官ニ書記官三人内三級壹人五級壹人七級壹人外ニ兼務者貳  
 人トス鑑定官ハ壹級五級各壹人兼務者貳人勅任官合計六人兼務者四人ナリ之ヲ前年ニ比較セハ本務者ハ異動ナキモ  
 兼務者ハ貳人ヲ減少セリ判任官ハ合計五拾七人兼務者六人ニシテ前年ニ比シ本務者ニ六人兼務者ニ九人ヲ減少セリ又  
 雇員ハ貳拾七人兼務者參人ニシテ前年ニ比シ本務者ニ四人ヲ減シ兼務者ニ貳人ヲ増加セリ而シテ總計九拾人ニシテ前  
 年ニ比シ結局本務者ニ拾人兼務者ニ九人ノ減少ヲ觀ルハ蓋シ明治三十五年三月二十八日勅令第七十八號ヲ以テ大藏省  
 官制改正セラレ定員ヲ減少セラレタル結果ニ因リ此減差ヲ觀ルニ至レリ即チ左表ノ如シ

官等	年俸及月俸		人員	月俸	年俸
	額	額			
主稅局長	三	千	一	二五,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇
書記官	貳	千	三	一六,六六六	五〇〇,〇〇〇
鑑定官	千	六	一	一〇,〇〇〇	一二〇,〇〇〇
判任官	千	六	一	一〇,〇〇〇	一二〇,〇〇〇
兼務者	千	六	六	一〇,〇〇〇	一二〇,〇〇〇
雇員	百	六	一	一〇,〇〇〇	一二〇,〇〇〇
總計	千	貳	一	三九,九九九	四八〇,〇〇〇

本局職員

三十五年三月三十一日現在

分課規程職員



比三 較十 增三 減年 度	總 計	勸業列員			職 員
		任 官	任 官	任 官	
x x △	x		x		新 任
五 三	六	一	六	三	轉 免
x x △	x		x		休 職
三 八	三	一	三	三	復 職
△					昇 級
九 三	三	三	三	三	增 給
△					受 給 賞 與 ノ チ
一 五	六	三	四	一	

二二四

明治三十五年九月三十日印刷  
 明治三十五年十月二日發行

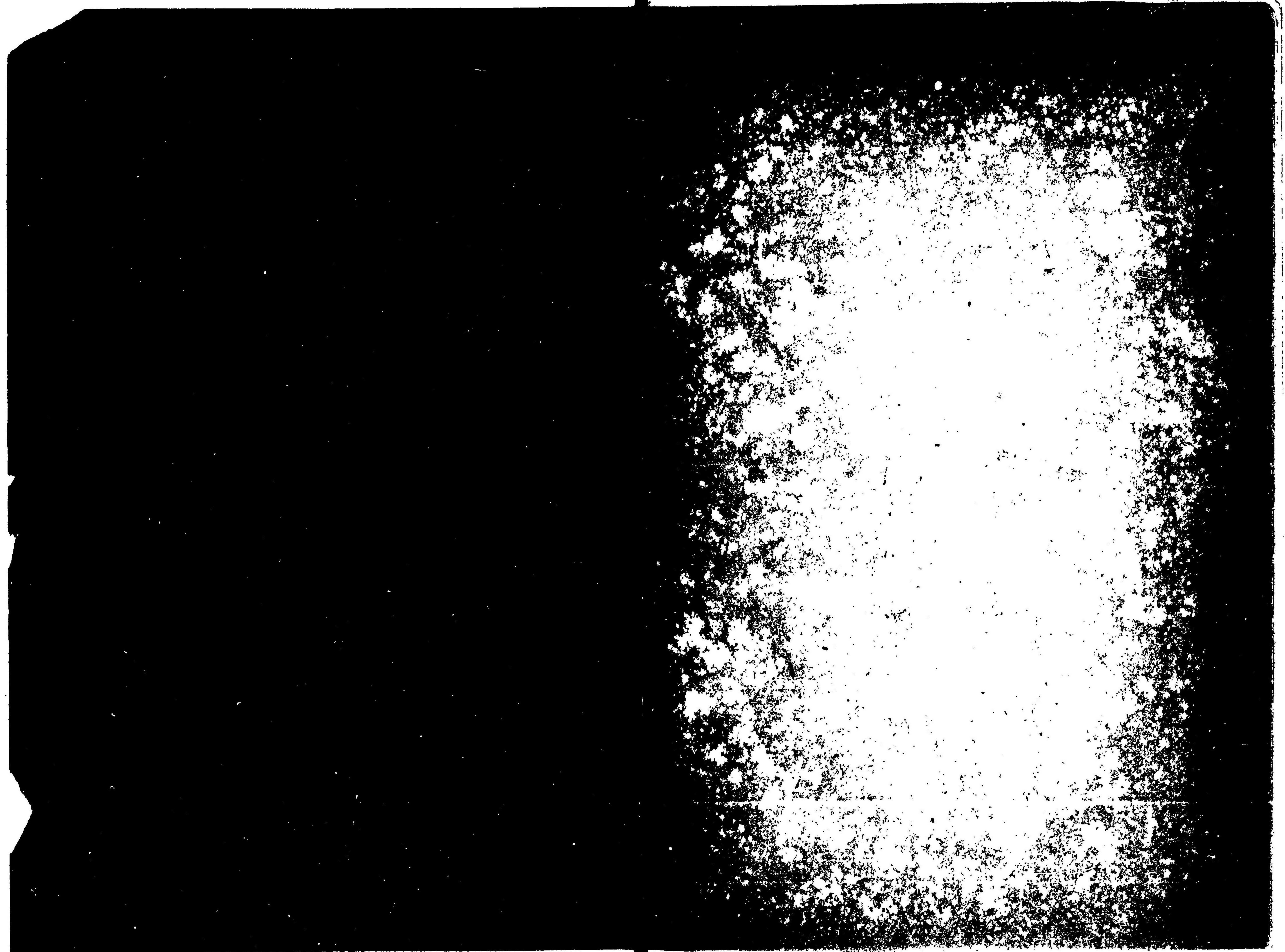
# 主 稅 局

印刷者 熊田宜遜

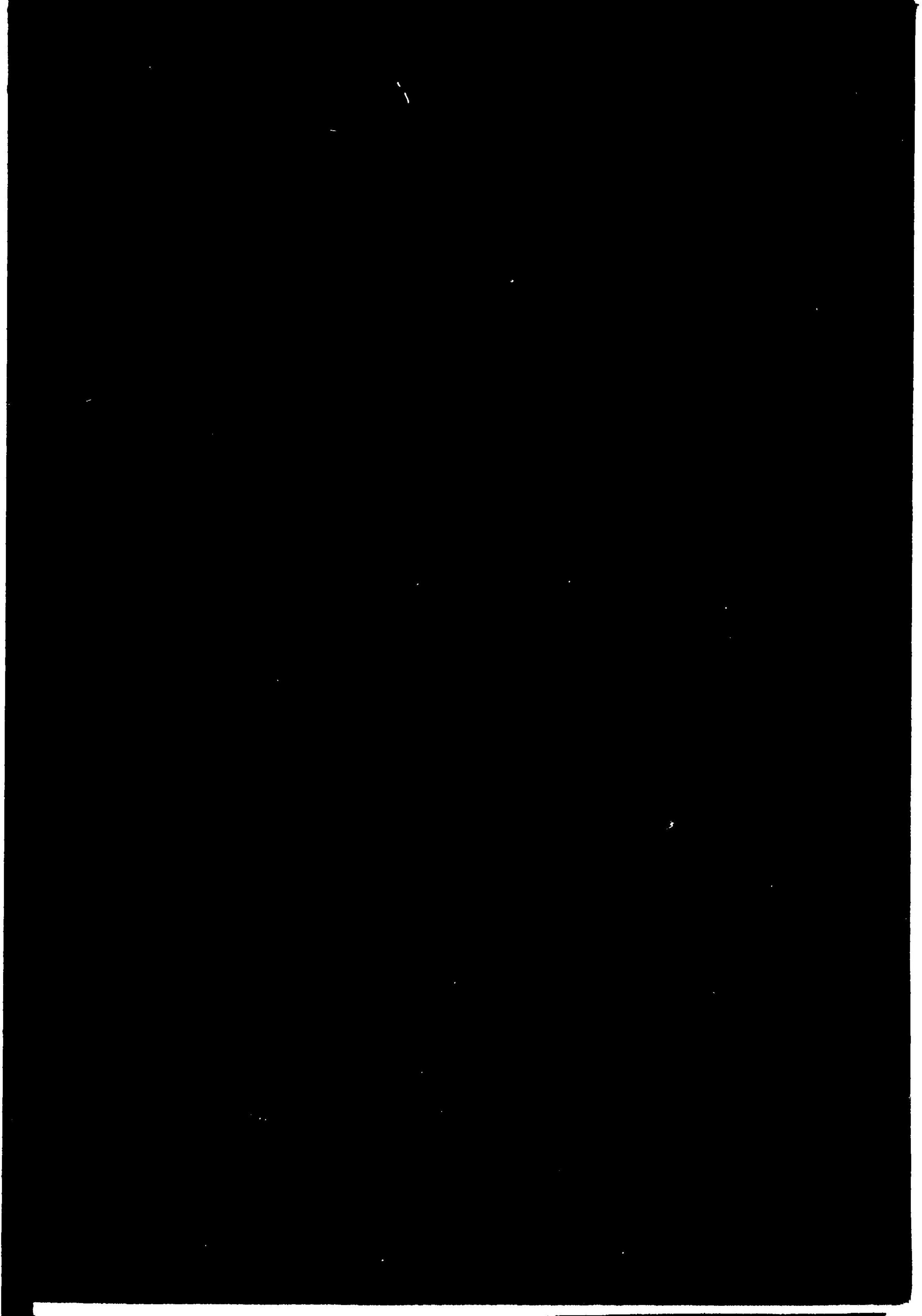
東京市神田區錦町三丁目廿五番地

印刷所 熊田活版所

東京市神田區錦町三丁目廿五番地



101





14.4

301

